

2026 年 8 月 7 日作成 Ver.1.1

《情報公開文書》

「悪性中枢気道閉塞に対するシリコン気道ステント留置術の治療成績と予後因子に関する後方視的検討」

研究の概要

【背景】

気道（気管・主気管支）は呼吸を行うために重要な通路です。悪性腫瘍により気道が狭窄あるいは閉塞すると、呼吸困難、咳嗽、喀痰排出困難、肺炎、窒息などを生じ、患者さんの生活の質（QOL）や生命予後に大きく影響します。近年、肺癌をはじめとする悪性腫瘍に対する薬物療法や放射線治療の進歩により、生存期間が延長しています。それに伴い、中枢気道狭窄・閉塞に対する気道インターベンション治療（気道ステント留置、腫瘍焼灼、気道拡張術など）の重要性が高まっています。しかしながら、これらの治療の安全性や有効性、長期成績、予後に影響する因子については十分に明らかになっていません。本研究では、当院で施行された中枢気道狭窄・閉塞に対するシリコン気道ステント留置術の治療成績を後方視的に解析し、その治療成績を検討します。

【目的】

本研究の目的は、悪性中枢気道閉塞に対して行われたシリコン気道ステント留置術の安全性、有効性および長期予後を評価し、治療成績に影響を与える因子を明らかにすることです。

【意義】

本研究により、適切な治療適応や周術期管理方法の確立につながり、今後の患者さんの診療向上に貢献できると考えています。

【方法】

対象となる患者さん

2005 年 10 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに長崎大学病院呼吸器外科で悪性中枢気道閉塞に対して初回シリコン気道ステント留置術を受けた患者さん

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

項目	診断時	治療時	当院最終受診日
患者背景	●	—	●
画像検査（胸部レントゲン、CT）	●	●	●
手術所見	—	●	—
原疾患治療内容	—	—	●
合併症評価	—	●	●
治療後の経過	—	—	●

1. 患者背景：年齢、性別、身長、体重、Performance Status、喫煙歴、既往歴、併存疾患、原発疾患名、病期、再発の有無 血液学的検査（白血球数、ヘモグロビン値、血小板数）、血液生化学検査（総タンパク、肝機能、腎機能、CRP）
2. 画像検査：胸部単純写真、胸部 CT
3. 手術所見：インターベンションの種類、用いたステントの種類（シリコン、金属）、長さ、主な狭窄部位、手術時間、出血量、体外循環の有無
4. 原疾患治療内容：治療の有無、手術、化学療法、放射線治療、緩和治療
5. 合併症評価：手技に伴う合併症の有無（出血、肺炎、ステント逸脱）、ステント挿入後の合併症の有無（肉芽、ステント逸脱、ステント破損）
6. 治療後の経過：最終受診日、治療後の経過

情報の利用開始予定日

本研究は 2026 年 8 月 14 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2027 年 6 月 30 日

研究実施体制

研究責任者

所属：長崎大学病院 呼吸器外科
 氏名：松本 桂太郎
 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1
 電話：095 (819) 7304

情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止】 長崎大学病院 呼吸器外科 宮崎拓郎 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7304 FAX 095（819）7306	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	